

熊取町議会委員会会議録

都市計画道路建設促進特別委員会

令和元年9月13日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[都市計画道路建設促進特別委員会]
都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況について…………… 1

都市計画道路建設促進特別委員会

月 日 令和元年9月13日（金曜）招集

場 所 熊取町役場北館3階大会議室

出席委員	委員長	坂上 巳生男	副委員長	重光 俊 則
	委員	大林 隆 昭	委員	坂上 昌 史
	委員	鱧谷 陽 子	委員	二見 裕 子
	委員	河合 弘 樹	議長	矢野 正 憲

欠席委員 なし

説明員	町 長	藤原 敏 司	副町長	中尾 清 彦
	総合政策部長	南 和 仁	総務部長	林 利 秀
	都市整備部長	矢部 義 雄	都市整備部理事	阪上 敦 司
	まちづくり 計画課長	馬場 高 章	道路課長	山原 栄 次
事務局	議会事務局長	藤原 伸 彦	書記	藤原 孝 二

付議審査事件

1) 都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況について

委員長（坂上巳生男君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、これより都市計画道路建設促進特別委員会を開会いたします。

（「14時29分」開会）

委員長（坂上巳生男君）本日の案件は、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についての件であります。

なお、発言される方は、必ずマイクを使っていただきますようお願いいたします。

それでは、本件について説明を願います。馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）それでは、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についてご説明申し上げます。

2枚目以降に図面をつけておりますので、図面を適宜ごらんいただきながらをお願いいたします。

まず、1番としまして、泉州山手線の状況ですが、その1)大阪府の方針といたしまして、泉州山手線については、全線約10キロメートルのうち、（仮称）山直・修斉区間4.20キロメートル、（仮称）せんごく・熊取区間3.25キロメートルの2区間が事業化候補区間として位置づけられましたが、平成30年11月に泉州山手線整備促進協議会（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、熊取町）が大阪府に対し、泉州山手線の整備に関する要望を行った際に、大阪府から、候補区間のうち、磯之上山直線から岸和田中央線、それから貝塚中央線から府道水間和泉橋本停車場線、この2区間を事業着手工区とする旨、表明があったところです。

また、大阪府と泉州山手線整備促進協議会を構成する3市1町との間で、泉州山手線の事業着手に関する確認書を令和元年7月31日付で締結いたしました。

確認書には、各市町及び大阪府の役割として、各市町は、沿道まちづくり、早期事業効果発現に

向けた取り組みを進めるとともに、泉州山手線の供用開始に合わせて一般国道（旧）170号の移管を受ける。

大阪府は、各市町における上記取り組みの実施を前提に事業着手に向けた手続を進めていくことが記されております。

2) これまでの経緯と今後のスケジュールでございますが、平成30年から令和元年度につきましては、先ほどご説明しました着手工区の選定、全線の予備設計、それから令和2年度以降につきましては、沿道まちづくりの進捗、用地取得等の早期事業効果発現の見込み、旧道引き継ぎの3点の確実性を確認した上で、上記2工区の事業に着手するという事になってございます。

以上で、泉州山手線の状況の説明を終わります。

説明者を交代します。

委員長（坂上巳生男君）続いて、山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）続きまして、2ページ目になります。

大阪岸和田南海線の状況について説明いたします。

1) 第1期事業区間、泉佐野市界から府道泉佐野打田線の約850メートルです。

4ページをごらんください。

真ん中あたり、縦に走っています府道泉佐野打田線より左側が第1期事業区間となっております。

2ページにお戻りください。

平成28年3月、「大阪府都市整備中期計画」の中間見直しにおきまして、平成28年から32年度までの間で概成する路線と位置づけられております。

平成28年度につきましては、用地測量委託及び道路詳細設計委託を実施。29年度には、用地測量委託及び補償算定業務を実施し、用地買収を行っております。平成30年度には、補償算定業務委託を実施し、用地買収を行っております。

令和元年度以降では、補償算定業務及び用地買収を行いまして、道路詳細設計の修正委託及び整備工事を実施する予定となっております。

続きまして、2) 第2期事業区間、府道泉佐野打田線から国道170号大阪外環状線までの約600メートルです。

4ページをお願いします。

真ん中、縦に走っております府道泉佐野打田線より右側が第2期事業区間となっております。

すみません、また2ページにお戻りください。

平成28年3月、「大阪府都市整備中期計画」の中間見直しにおきまして、平成28年から32年度までの間で着手する区間と位置づけられております。

平成28年度には用地測量委託を実施、29年度も同じく用地測量業務を実施、平成30年度につきましては用地測量委託、道路詳細設計委託及び補償算定委託を実施しております。

令和元年度以降は、土質調査・橋梁予備設計については現在実施中、用地測量を実施予定、補償算定業務を実施しまして、用地買収などを今後進めていく予定となっております。

説明は以上です。

委員長（坂上巳生男君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はございませんか。二見委員。

委員（二見裕子君）すみません、泉州山手線のところなんです、真ん中より下のほうのポツのところ、各市町は、沿道まちづくり、早期事業効果発現に向けた取組を進めるとともに、泉州山手線の供用開始に合わせて一般国道（旧）170号線の移管を受ける」というふうにあるんですが、この地図でいうと、この緑の部分ですよね。これ今までは府のほうで道路が何かあったときにはやっていたのが、これは町がやっていくというふうになるということですか。

委員長（坂上巳生男君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）最終的に、先ほど来説明しています岸和田南海線あるいは外環状線

の4車化、それから泉州山手線の整備ということで、新たな交通のネットワークが形成された段階で、旧道部分については町のほうで引き取って町の道として管理するというようになってございます。

委員長（坂上巳生男君）二見委員。

委員（二見裕子君）じゃ、今すぐということではないということと考えていたらいいということですか。

委員長（坂上巳生男君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）そのとおりでございます。

委員長（坂上巳生男君）ほかに質疑はございませんか。大林委員。

委員（大林隆昭君）泉州山手線のほうで、事業着手工区の貝塚の側で物流施設整備予定と書いていますが、このあたり、貝塚のエリアにはなっているんですが、このあたりは何がどうなっているんですか。

委員長（坂上巳生男君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）このエリアについては、皆さんご存じかと思いますが、旧千石荘病院の跡地を貝塚市さんが取得されて、いろんなプランがあるんですが、その中で、ことしの最初ですが、貝塚市さんのほうで物流関係、発表によりますと、化粧品とかそういうものをお扱いになる業者がここに参入する候補業者として決定したということで、おおむねのエリアをブルーで今示させていただきますところですよ。

以上です。

委員長（坂上巳生男君）ほかに質疑ございませんか。河合委員。

委員（河合弘樹君）岸南線の令和元年度からの用地測量実施（予定）なんですけれども、これ前年度までは用地測量委託実施になって、これ違いは何かあるんですか。

委員長（坂上巳生男君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）2期事業区間のほうでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

道路課長（山原栄次君）これ令和元年度以降の実施予定分を書かせていただいておりますので、（予定）というものについては、年度単位で考えますと、まだ発注していないということで、今後実施する予定ということで記載させていただいております。前年度までは、もう既に委託発注して実施しておりますので、そういう形で実施ということで書かせていただいております。

以上です。

委員長（坂上巳生男君）ほかにございませんか。重光委員。

委員（重光俊則君）今のところで、まず1つは、事業着手する区間として、第2期区間として600メートルのところが書いてあるんですが、これいつまでにやるというのは全然どこにも書いていないんですよ。今から用地買収して、岸南線については用地買収して詳細設計しますよと。だから、いつまでにこれをやりますというのは、全然話し合いができていない、ただ着手して、実施しているということしか、これ述べていないんじゃないですか。何かもうちょっと、いつまでにどうするということは、今決まっていない、外環に行くまでの間のところがどうなるのかが一番重視すべき計画なんですけど、着手しますよということで少しずつやっていますということしか読み取れないんですが、その辺はどこまで話ができているんですか。

委員長（坂上巳生男君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）大阪府のほうで事業評価された中に、一応、目標年次ということで、その当時は平成34年、現在でいきますと令和4年度を目指すということになっております。

ただ、あくまでも道路事業につきましては、用地買収を行ってということになりますので、まずは用地協力いただかないと、幾ら何年に完成しますということで明言しても用地協力がなければ事業が進みませんので、そのあたりで完了年度は明確には決まっていないというか、そこを目指すということでは令和4年ということで大阪府のほうからも確認はとれてございます。

以上です。

委員長（坂上巳生男君）重光委員。

委員（重光俊則君）大阪府のほうは、令和4年までに用地買収と整備工事着手ぐらいまではやっていきたいというところがあるのか、それは用地買収が進んだらいきますよということで、誰が進めるのかわかりませんが、やっぱり大阪府がこれは工事計画を立ててやるんですよね、それを自分たちがわからへんから書かへんということを言っているわけね、用地買収できるか、できないか。道路ってやっぱりそういうもので、これをいつまでに用地買収してやっていくんだというようなのは示さないんですか、大阪府がよう示さんのですか。

委員長（坂上巳生男君）山原道路課長。

道路課長（山原栄次君）すみません、大阪府のほうは、今現在、目標年次である令和4年に向けて、かなり精力的に動いてはいただいております。

ちょっと繰り返しにはなりますが、先ほどもご説明させていただきましたように、道路事業というのは、まず用地協力をいただいてからの工事ということになりますので、幾ら事業者側が何年ということでも明言したところで、ご協力いただければ事業は前に進まないということになっておりますので、決してそこを明確にしないのは、おくらせるという意味ではなくて、そういう意味合いで明言していないだけで、大阪府としては令和4年を目指して精力的に今頑張らせていただいております。

以上です。

委員長（坂上巳生男君）重光委員。

委員（重光俊則君）それと、3ページの地図は泉州山手線の説明なんですよ。これについては、もともと熊取町に接しているようなところは、着手は今回はしませんよと、千石荘あたりで事業を進めるから、それに絡めたところと岸和田のところをやりますよということで、これ何十年先になるかわかりませんが、そこにしましょうという説明で、最初の熊取町にくっつくところとその間って、これはどの辺の時期を考えて計画提示しているんでしょうか。

委員長（坂上巳生男君）馬場まちづくり計画課長。

まちづくり計画課長（馬場高章君）こちらにつきましては、千石熊取区間、この区間について貝塚市側から事業着手工区ということで今回決めましたけれども、それ以後、熊取町に対しての区間について、何年に整備という予定は今のところございません。ただ、接続に当たっては、やはり岸和田南海線と外環の整備もあわせて必要かと思っておりますので、相当の期間を置いてということになるかと思っております。

委員長（坂上巳生男君）重光委員。

委員（重光俊則君）この赤色2カ所が事業着手になったというのは、その理由としてはどういうところが大きなところなんですか。物流施設を整備するからやというのは、下の方なんでしょうけれど、上のほうはどういう理由なんですか。

委員長（坂上巳生男君）矢部都市整備部長。

都市整備部長（矢部義雄君）この事業着手工区の選定に当たりましては、この資料にもお示ししているとおり、沿道のまちづくり、要は今回、先ほどちょっとご説明しましたせんごくの杜の開発とか、そういったふうなものとか早期事業効果発現、これは用地買収の協力とか、そういったサポート体制が備わっているかということ、それと旧道の引き継ぎ、できたら旧道は引き継ぎますよというふうな、この3点を見きわめた上で事業着手に向けて取り組むというふうなのが、今、大阪府のスタンスで、今回、事業着手工区になったというところについては、貝塚市のこの区間については、先ほど申し上げたせんごくの杜。

岸和田のほうなんですけれども、岸和田は、一番右側の図面に、泉州山手線の先線、三林岡山と書いているんですけれども、要は、これは泉北高速が和泉中央のその先の道路で、今、磯之上山直線でどん突きになっているところがあるんですけれども、このあたりでまちづくり、要は面整備、

区画整理か何か、そういったふうなことでまちづくりに取り組んでいくというふうなことで、まちづくり協議会をつくって、地元にたしか入っているはずですが、岸和田市は。だから、そういったふうなところで、沿道のまちづくりというのが一定進捗が見込めるというふうなことで、この2区間を今回事業着手工区に選定したというふうなことでございます。

委員長（坂上巳生男君）ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

以上で質疑を終わります。

これをもって、都市計画道路「泉州山手線」「大阪岸和田南海線」の状況についての件を終了いたします。

以上で、本日の案件が終了いたしました。

委員長（坂上巳生男君）その他、何かご報告等があれば承ります。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で都市計画道路建設促進特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

（「14時47分」開会）

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

都市計画道路建設促進特別委員会委員長

坂上巳生男